撮影/米軍　所蔵/米国国立公文書館　提供/広島平和記念資料館

広島原爆

広島原爆 伝承者講話風景

長崎原爆 伝承者講話風景

長崎原爆

撮影者不詳・長崎原爆資料館所蔵

浅草の仲見世あたり（1945年3月19日撮影）
提供/東京大空襲・戦災資料センター

東京大空襲

東京大空襲 伝承者講話風景

令和7年度

くにたち 原爆・東京大空襲体験 伝承者講話

伝承者派遣
申込受付中

広島原爆・長崎原爆・東京大空襲

▶ 3人の戦争体験を聞き取りした伝承者たち※が 生の言葉で語り継ぐ―

国立市内在住の広島･長崎の原爆体験者と東京大空襲体験者から受け継いだ
戦争の体験と平和への思いを、国立市から委嘱された伝承者が心を込めて語ります。

※令和6年度活動者22名

この方たちの戦争体験と思いを語ります

ひらたただみち
平田忠道さん　広島原爆 体験者
1930年（昭和5年）生／2019年逝去

1945年4月、東京都麻布から父親が転勤していた広島へ、母親と妹、2人の弟とともに転居。そのわずか4か月後、中学3年生だった平田さんは、広島市北部にある可部町での勤労動員の作業中に被爆。

かつらしげゆき
桂 茂之さん　長崎原爆 体験者
1930年（昭和5年）生／2017年逝去

当時、長崎中学校3年生だった桂さんは、学校で製造した部品を大八車に乗せて、同級生4人1組で三菱造船所に運ぶ途中、長崎駅付近で被爆。

にへいはるよ
二瓶治代さん　東京大空襲 体験者
1936年（昭和11年）生

8歳のときに東京大空襲に遭い、亀戸で被災。家族とはぐれて炎の中を逃げまどい、折り重なる死体の下で一命を取り留める。奇跡的に家族と再会するも、前日まで遊んでいた多くの友人が犠牲に。

※ くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話は、**体験者本人ではなく、体験者の体験と思いを語り継ぐ「伝承者」による講話**です。

くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者 派遣概要

東京都国立市では、市内在住の広島原爆・長崎原爆及び東京大空襲の体験者の体験と思いを、一人でも多くの方に語り継ぐため、「くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者」の派遣を行っています。学校・自治体・民間企業・市民グループなどを対象に、全国に伝承者を派遣します。

講話：広島原爆・長崎原爆・東京大空襲
時間： 1回の講話は約35分間(質疑等の実施の希望については、ご相談ください)。

費用：無料　※ただし、東京大空襲の伝承者を東京都外に派遣する場合は、
謝金2,000円+交通費実費を伝承者にお支払いいただきます。

申し込みから開催の流れ

申し込みの受付
↓
派遣の可否の連絡
↓
派遣者名等の派遣内容の連絡
↓
派遣者と電話等で打ち合わせ
↓
会場への派遣、開催

申し込み期限

国立市：開催日の1か月前まで

広島・長崎 原爆死没者追悼平和祈念館：
原則、派遣希望月の3か月前の月の月末まで

※申込・派遣に関する注意事項は、
各申込先にて必ずご確認ください

申込先

開催場所は？

国立市（くにたち）

国立市以外（くにたち）

希望する講話は？

東京大空襲　**広島原爆**　**長崎原爆**

東京都国立市役所（くにたち）
▲国立市公式サイト
くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話

東京大空襲

広島原爆

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館（こくりつ）
▲祈念館公式サイト

長崎原爆

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館（こくりつ）
▲祈念館公式サイト

※両祈念館へのお申し込みの場合、くにたち原爆・東京大空襲体験伝承は、「原爆体験伝承者（東京都国立市が養成）」の名称で記載されています。「原爆体験伝承者（東京都国立市が養成）」をお申し込みください。

※くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話は、**体験者本人ではなく、体験者の体験と思い語り継ぐ「伝承者」による講話**です。

【申し込み・問い合わせ先】
国立市 政策経営部 市長室 平和・人権・ダイバーシティ推進係
電話：042-576-2111（内線229・256）
ファクス：042-576-0264　／　メール：sec_diversity@city.kunitachi.lg.jp

▼ 国立市ホームページの QRコード ▼
伝承者講話　定期講話　派遣講話